

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間は、各フロア1名で対応しており、自施設だけでは対応困難であるが、夜間を想定した訓練が出来ていない。地域の皆さんとの連携も出来ていない。	夜間を想定した訓練の実施と、地域の皆さんの協力を得られるようにする。	災害時に、全職員が駆けつける体制についての確認を行い、その中でどんな障害や問題が考えられるか話し合い、対応を検討した上で、訓練計画を作成する。運営推進会議にて、避難訓練計画を説明し、地域の皆さんにも参加していただけるようお願いする。	6ヶ月
2	33	利用者様の年齢も高くなり、また持病をかかえている方も多く、看取り介護についても考えることが増えていますが、職員全員が利用者様の個々の状態をしっかりと把握して、臨機応変な対応が出来ていない。	利用者様それぞれの心身の状態を日々把握し、理念にも掲げているように、心から家族と思える介護が出来るようにする。	利用者様のADLも低下してきており、日々状態が変わる方もいらっしゃるため、日頃より心身の状態を把握するようにする。いつもこうだから、これでいいではなく、その時々で判断し対応できるように日々の申し送りの中でも、職員間でしっかりと話し合っていく。また、系列のGHなどの事例を聞くなどの機会をつくり、職員それぞれが、介護技術・経験値を向上出来るようにする。	12ヶ月
3	6	院内研修に参加したり、GH合同研修も行っているが、年間を通して計画的な研修の実施が出来ていない。また、職員一人ひとりが、研修の意義について考えて積極的に参加出来ていない。	年間の研修計画を立て、職員が積極的に参加出来るようにする。	身体拘束排除を含め主要項目についての年間研修計画を作成する。外部評価でアドバイスいただいたように研修に参加してもらうだけでなく、職員が各担当者となり、先生役を務めることで、研修の意義や内容についての理解を深めてもらい、介護者として向上心を持てるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。